

報道機関各位
お知らせ

2019年03月24日
全日本医学生自治会連合

全日本医学生自治会連合 第36回定期全国大会にて、
「医学部入試差別に関わる、医学部・医療界の差別意識と医師の労働環境に
対する医学連大会における緊急声明」を公表しました。

全日本医学生自治会連合（以下、医学連）は、全国の医学部自治会の連合体として、国民の利益に基づき、医学生の利益を守るために活動しています。医学連は毎年3月に定期全国大会を開催しており、ここでは、全国から20大学の医学部自治会の代表者に参加してもらい、医学生の総意を取り、医学連の一年の活動の総括や来期の活動方針の決定を行っています。

さて、医療界を取り巻く問題として、2018年8月に医学部医学科の入試で行われていた不正が明らかになりました。これに対し、医学連は全国の医学生を対象にアンケート調査を実施し、入試不正やその背景にある労働環境に対する医学生の生の声を集めたり、記者会見を行って、医学生の声を社会へ発信したりするなど、様々な活動を行ってきました。そして今年度行われた医学連大会では、全国の医学部から集まった医学連大会参加者と問題意識を共有し、緊急声明の採択へと至りました。

医学連は、全国の医学部と連携しながら「差別や不当な扱いを受けずに学ぶことができる医学部」「差別のない医療界」を目指します。そして、その背景にある過酷な労働環境を改善することが、入試不正問題の解決へと繋がり、さらに、国民が安心して受けられる医療へと繋がると考えます。

貴メディアにて、添付する「医学部入試差別に関わる、医学部・医療界の差別意識と医師の労働環境に対する医学連大会における緊急声明」の掲載をご検討いただきますよう、お願いいたします。

【お問い合わせ先】

名称：全日本医学生自治会連合

住所：〒113-0034

東京都文京区湯島 2-7-8 東京労音お茶の水センター1F

担当者：河内千怜

E-mail：info@igakuren.jp